

令和5年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年2月10日

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア
 コード番号 3851 URL <https://www.nippon1.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 北角浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 世古哲久
 四半期報告書提出予定日 令和5年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 058-371-7275

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第3四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第3四半期	3,349	25.9	542	63.6	672	56.2	485	53.0
4年3月期第3四半期	4,518	30.7	1,491	90.5	1,536	104.5	1,032	107.0

(注) 包括利益 5年3月期第3四半期 673百万円 (40.9%) 4年3月期第3四半期 1,139百万円 (155.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第3四半期	96.48	96.20
4年3月期第3四半期	205.23	204.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年3月期第3四半期	8,860	6,775	74.9
4年3月期	8,225	6,138	72.7

(参考) 自己資本 5年3月期第3四半期 6,639百万円 4年3月期 5,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期		0.00		5.00	5.00
5年3月期		0.00			
5年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,588	2.2	1,027	34.4	1,236	26.8	830	34.8	164.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

5年3月期3Q	5,131,400 株	4年3月期	5,121,700 株
---------	-------------	-------	-------------

期末自己株式数

5年3月期3Q	90,856 株	4年3月期	90,813 株
---------	----------	-------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

5年3月期3Q	5,036,284 株	4年3月期3Q	5,032,784 株
---------	-------------	---------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、感染症対策の拡大に加え記録的な円安の影響により大きく混乱をきたしています。今後も金融資本市場の変動の影響等により引き続き先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループが所属するゲーム業界では、巣ごもり景気に対する反動がモバイルゲーム市場の拡大により軽微になることで、ゲーム市場全体では今後も堅調な推移が続くことが予想されます。また、デジタル化の進展に伴い、家庭用ゲーム機におけるダウンロード販売の拡大や、クラウドゲームサービスの登場によるプラットフォームの多様化、成長市場として近年注目されているeスポーツの発展など、市場環境には更なる変化が見られます。

当社グループは、このような経営環境の中、当社グループの商品やサービスを通じてゲームという分野に限らず年齢・性別・地域を超えたすべての人々に楽しさを提供し、その結果として当社グループと当社グループに関わるすべての人々が豊かになることを目指して成長してまいります。当社グループは持続的な発展を目指し、「開発力の強化」「販売力の強化」「生産性の向上」に取り組んでまいります。

このような状況の中、エンターテインメント事業におきましては、国内では全6タイトルのゲームソフトを発売いたしました。また、インターネット環境でゲームソフトを購入できるPlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売等を行いました。

学生寮・その他事業におきましては、岐阜県内の大学学生寮の運営を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,349,467千円（前年同期比25.9%減）、営業利益542,132千円（前年同期比63.6%減）、経常利益672,437千円（前年同期比56.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益485,884千円（前年同期比53.0%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(エンターテインメント事業)

パッケージタイトルとしましては、国内では『夜廻三』、『void* tRrLM2() ; //ボイド・テラリウム2』、『グリムグリモア OnceMore』等の合計4タイトルを発売いたしました。また、第4四半期以降に発売を予定しております『魔界戦記ディスガイア7』等の開発を進めてまいりました。

その他につきましては、PlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売を行いました。加えて、新規タイトルの開発及び関連商品のライセンスアウト、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営も引き続き行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高3,296,786千円（同26.4%減）、営業利益884,483千円（同51.3%減）となりました。

(学生寮・その他事業)

学生寮・その他事業におきましては、学生支援を目的として岐阜県内の大学学生寮2件の運営を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高52,680千円（同29.8%増）、営業損失21,498千円（前年同期営業損失14,168千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,860,620千円となり、前連結会計年度末に比べ635,489千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末に比べ731,481千円の減少）、商品及び製品の増加（同125,253千円の増加）、仕掛品の増加（同93,349千円の増加）、前払費用の増加（同320,168千円の増加）、その他の増加（同77,237千円の増加）によるものであります。

主な固定資産の増減は、土地の増加（同109,686千円の増加）、投資有価証券の増加（同626,407千円の増加）によるものであります。

（負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,085,620千円となり、前連結会計年度末に比べ856千円の減少となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の減少（同61,935千円の減少）、短期借入金の増加（同226,210千円の増加）、未払法人税等の減少（同160,872千円の減少）、賞与引当金の減少（同86,967千円の減少）、契約負債の増加（同26,121千円の増加）、返金負債の増加（同66,428千円の増加）によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少（同20,451千円の減少）によるものであります。

（純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,775,000千円となり、前連結会計年度末に比べ636,346千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加（同460,729千円の増加）、その他有価証券評価差額金の減少（同64,647千円の減少）、為替換算調整勘定の増加（同251,899千円の増加）、新株予約権の減少（同22,662千円の減少）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年3月期の通期業績見通しにつきましては、第4四半期連結会計期間の商品の販売動向等、いまだ不確定な要素を含んでおります。従いまして、令和4年11月11日公表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,768,581	4,037,100
売掛金	287,794	272,532
商品及び製品	202,864	328,117
仕掛品	350,971	444,321
前払費用	418,893	739,062
その他	246,864	324,101
貸倒引当金	△16,755	△17,527
流動資産合計	6,259,214	6,127,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	866,168	837,425
機械装置及び運搬具(純額)	4,158	3,646
土地	568,460	678,147
建設仮勘定	7,000	67,770
その他(純額)	31,184	29,246
有形固定資産合計	1,476,971	1,616,236
無形固定資産	10,414	26,214
投資その他の資産		
投資有価証券	395,435	1,021,842
その他	83,094	68,618
投資その他の資産合計	478,530	1,090,460
固定資産合計	1,965,916	2,732,912
資産合計	8,225,130	8,860,620

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,972	165,037
短期借入金	58,000	284,210
1年内返済予定の長期借入金	23,307	27,256
未払金	117,372	117,677
未払法人税等	164,470	3,597
賞与引当金	170,820	83,853
契約負債	78,477	104,599
返金負債	292,954	359,382
その他	158,313	154,574
流動負債合計	1,290,690	1,300,189
固定負債		
長期借入金	688,367	667,915
退職給付に係る負債	56,935	61,044
その他	50,483	56,470
固定負債合計	795,786	785,430
負債合計	2,086,476	2,085,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,900	557,444
資本剰余金	541,900	547,444
利益剰余金	4,529,140	4,989,870
自己株式	△56,288	△56,349
株主資本合計	5,566,652	6,038,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,221	△62,425
為替換算調整勘定	411,808	663,708
その他の包括利益累計額合計	414,030	601,282
新株予約権	157,971	135,308
純資産合計	6,138,653	6,775,000
負債純資産合計	8,225,130	8,860,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年 4月 1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年 4月 1日 至 令和4年12月31日)
売上高	4,518,417	3,349,467
売上原価	1,791,936	1,379,523
売上総利益	2,726,480	1,969,943
販売費及び一般管理費	1,235,090	1,427,811
営業利益	1,491,390	542,132
営業外収益		
受取利息	10,584	55,014
受取配当金	206	246
為替差益	32,018	81,163
その他	6,502	3,983
営業外収益合計	49,312	140,407
営業外費用		
支払利息	2,714	4,754
投資事業組合運用損	44	32
支払手数料	—	4,545
その他	1,088	770
営業外費用合計	3,847	10,102
経常利益	1,536,855	672,437
特別利益		
新株予約権戻入益	1,440	18,365
特別利益合計	1,440	18,365
税金等調整前四半期純利益	1,538,295	690,803
法人税等	505,399	204,918
四半期純利益	1,032,896	485,884
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,032,896	485,884

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年 4月 1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年 4月 1日 至 令和4年12月31日)
四半期純利益	1,032,896	485,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,429	△64,647
為替換算調整勘定	105,521	251,899
その他の包括利益合計	106,951	187,251
四半期包括利益	1,139,847	673,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,139,847	673,136
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自令和3年4月1日 至令和3年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,477,816	40,600	4,518,417	—	4,518,417
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,477,816	40,600	4,518,417	—	4,518,417
セグメント利益又は損失 (△)	1,817,582	△14,168	1,803,413	△312,023	1,491,390

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△312,023千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自令和4年4月1日 至令和4年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,296,786	52,680	3,349,467	—	3,349,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,296,786	52,680	3,349,467	—	3,349,467
セグメント利益又は損失 (△)	884,483	△21,498	862,984	△320,851	542,132

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△320,851千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。